

プレスリリース

平成22年5月11日

今後の野菜の需給・価格動向について

独立行政法人農畜産業振興機構

5月中旬以降の野菜の生育及び価格の見通しについて、野菜の需給・価格動向レポート(平成22年5月10日版)をとりまとめましたので、お知らせします。

なお、本レポートについては、当機構のHPにて、毎月公表致しております。

(問い合わせ先)

担当者：野菜需給部需給業務課

村野、太田

電話番号： 03-3583-9483

野菜の需給・価格動向レポート(平成22年5月10日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		4月の価格動向				生育及び価格の5月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価格				
			上旬	中旬	下旬		
葉 茎 菜	キャベツ	80.4	130	180	149	・入荷見込量: 16,963t (101) ・主産地: 千葉(45)、神奈川(29)、茨城(10)	・千葉産は、生育は回復。5月に入ってから出荷は多くなり、現在は平年並みの出荷。今後は、順調な出荷が見込まれ、ピークは5月下旬から6月初めの見込み。神奈川県産は、生育遅れにより、本来4/20ごろのはずが現在が出荷のピーク。 ・価格は、4月下旬から入荷量が増え価格は下落、平年に近づきつつある。5月10日の週は、更に入荷量が増え、また若干下がる見込み。
		86.7	125	158	144	・入荷見込量: 4,400t (116) ・主産地: 兵庫(23)、愛知(19)、茨城(15)、福岡(12)、鹿児島(7)、和歌山(7)、三重(6)	
	ねぎ (関東: 白ねぎ、 関西: 青ねぎ)	264.1	332	377	399	・入荷見込数量: 3,926t (97) ・主産地: 茨城(35)、千葉(33)、埼玉(16)	・茨城産ほか関東の夏ねぎが本格的に増える見込み。 ・春ねぎの作柄が悪く、夏ねぎの生育も遅れており谷間ができています。生産量の回復が見込まれる5月後半までは高値が続く見込み。
		334.73	376	428	457	・入荷見込数量: 250t (111) ・主産地: 徳島(25)、香川(21) 大阪(20)、奈良(8)、高知(8)	
	はくさい	67.1	106	103	116	・入荷見込量: 5,558t (97) ・主産地: 茨城(95)	・茨城産は、生育遅れにより、とうだちも散見され、品質が悪く、出荷量は前年を下回っている。今後も出荷量の大きな増は、見込めない。 ・連休前ころから価格は下落気味だが、堅調に推移する見込み。
		82.1	97	89	106	・入荷見込量: 2,800t (101) ・主産地: 茨城(37)、大分(13)、熊本(12)、岡山(11)、長野(10)、宮崎(6)、	
	ほうれんそう	376.1	660	509	625	・入荷見込量: 1,541t (100) ・主産地: 群馬(36)、茨城(22)、岩手(15) 埼玉(14)	・群馬産は、4月に遅れた分、順調に生育が回復し、東北産地も生育の遅れを取り戻す。 ・連休前から価格は下落し、平均価格に近づいている。
		396.89	591	454	619	・入荷見込量: 430t (86) ・主産地: 岐阜(64)、奈良(11)、福岡(10)	
	レタス	164.45	262	260	263	・入荷見込量: 7,424t (94) ・主産地: 長野(40)、茨城(30)、群馬(16)	・長野産は、1週間程度の遅れ。4月下旬から5月の出荷量は少ないが、5月15日以降は、出荷が本格化する。茨城産は、生育が遅れ小玉傾向。群馬産は、4月末から出荷開始。遅れているが、漸増。 ・価格は、平年より高いが、出荷量が増え、5月後半から下がる見込み。
		173.68	272	265	266	・入荷見込量: 1,750t (95) ・主産地: 長野(46)、兵庫(41)	
	たまねぎ	91.2	129	124	129	・入荷見込量: 12,343t (99) ・主産地: 佐賀(59)、兵庫(12)、輸入(8)千葉(7)	・佐賀産は、現在の露地の早生ものも、早生以降のものも生育は回復しているものの小玉傾向。5月下旬までが、ピーク。兵庫産は、生育が若干遅れぎみであるが、今後出荷は増える。6月から7月がピーク。 全体的には、天候不順、低温の影響をうけて小玉傾向。 ・価格は兵庫の入荷が増える中旬以降低下するが、平年を上回る見込み。
		91.2	131	121	130	・入荷見込量: 4,500t (99) ・主産地: 兵庫(49)、佐賀(30)、大阪(10)、北海道(7)	
果 菜	きゅうり	253.93	309	319	307	・入荷見込量: 8,487t (97) ・主産地: 埼玉(32)、群馬(19)、茨城(12)、千葉(12)	・埼玉産は、平年並みで、今がピーク。5月は、遅れていた分の出荷があり、前年より若干多い見込み。 群馬産は、ある程度回復してきているが、大幅な出荷増は見込めない。 高知産は、前年並みであるが、下級品が増えている。 樹勢のバランスが悪いことから、全体の入荷量は次第に増えるものの、平年を下回る見込み。 ・価格は連休前から低下。今後は平年並みかやや高い見込み。
		242.77	296	310	312	・入荷見込量: 2,000t (99) ・主産地: 宮崎(44)、高知(17)、徳島(13)、愛媛(8)	
	トマト	323.6	478	486	448	・入荷見込量: 8,937t (99) ・主産地: 栃木(18)、熊本(17)、茨城(12)、千葉(11)、愛知(11)、群馬(6)、埼玉(5)	・栃木産は、生育は遅れていたが、連休中の天候の回復とともに出荷量が増えた。一時より大玉になったが、大幅に増えることはなく少なかった前年並み。群馬産は、ある程度回復しているが、大幅な増加は見込めず前年を下回る。 小ぶりで着果していない段があるなど入荷量は前年と同様に少ない。 ・価格は4月中旬をピークに低下しているが、平年より高く推移する見込み。
		321.78	456	459	441	・入荷見込量: 1,900t (110) ・主産地: 熊本(37)、福岡(20)、愛知(16)、徳島(9)	
	なす	347.77	422	412	434	・入荷見込量: 4,537t (95) ・主産地: 高知(41)、福岡(22)、群馬(12)、佐賀(4)	・高知産は、4月までが対前年の6割程度。5月は微増傾向。群馬県もある程度は回復しているものの大幅な増加は見込めない。 ・入荷量は前年より少なく、価格は平年より高い見込み。
		348.37	401	399	430	・入荷見込量: 1,100t (95) ・主産地: 高知(23)、大阪(19)、福岡(14)、岡山(13)、熊本(13)、奈良(9)	
	ピーマン	308.36	640	598	729	・入荷見込量: 2,572 (96) ・主産地: 茨城(79)、高知(8)	・茨城産は、回復傾向にあるものの、平年より少ない。高知産は、4月下旬まで7割程度、連休をはさんで微増。 ・入荷量が回復する5月下旬までは、価格は高値で推移する見込み。
		283.1	623	570	671	・入荷見込量: 520 (110) ・主産地: 宮崎(57)、高知(25)、和歌山(10)	
根 菜	だいこん	91.2	108	125	115	・入荷見込量: 8,790t (98) ・主産地: 千葉(78)	・千葉産は、生育が回復してきているが7~10日程度遅れている。これから出荷のピークで6月まで続く。 ・連休前から価格は落ち着いてきているが、5月下旬の本格的な青森産の入荷まで入荷量が少なく、価格は平年よりやや高い見込み。
		104.7	105	112	94	・入荷見込量: 2,500t (96) ・主産地: 長崎(34)、和歌山(11)、香川(10)、千葉(6)、茨城(5)	
	にんじん	156.99	126	168	205	・入荷見込量: 7,824 (93) ・主産地: 徳島(60)、千葉(25)	・主産地は徳島県。今年は豊作傾向で量的に前年並みの出荷量。連休をはさんで、5月20日頃までは、順調な出荷。下旬には関東産が急増。 ・3月までの価格の低迷も影響して、価格は平年を下回る見込み。
		156.2	129	173	202	・入荷見込量: 2,500 (96) ・主産地: 徳島(54)、長崎(29)、宮崎(6)	

種類		4月の価格動向				生育及び価格の5月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価格				
			上旬	中旬	下旬		
い も	さといも		220	231	267	—	・長崎産は、一週間程度生育が遅れている。3月の寒波の影響で玉数が少ない。5月20日頃が出荷のピーク。入荷量は前年より1割少ない見込み。 ・価格は連休前から下落傾向にはあるが、入荷量が少ないため、なお、価格は平年より高い。
			310	429	495	—	
	ばれいしょ	131.8	143	172	189	・入荷見込量：9,577t (97) ・主産地：長崎(58)、鹿児島(17)、北海道(15)	
		131.8	135	204	219	・入荷見込量：3,900t (84) ・主産地：長崎(74)、北海道(12)、鹿児島(9)	

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価格の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、3月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4.970g、対前年比104%となっている。購入金額については、1.768円、対前年比105%となっている。また、小売物価統計によると、天候不順の影響で野菜の価格が高騰したことから、4月のキャベツの小売価格は393円で過去5年平均比170%、レタスは569円で同131%となっている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)									
年	過去5年平均		平成21年		平成22年		前年比	前年比	
月	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)		購入量(g)	金額(円)
1月	4,130	1,521	4,277	1,548	4,240	1,551	99	4,130	1,521
2月	4,325	1,548	4,536	1,529	4,461	1,574	98	4,325	1,548
3月	4,675	1,690	4,799	1,685	4,970	1,768	104	4,675	1,690
4月	4,758	1,783	4,783	1,805				4,758	1,783
5月	5,127	1,884	5,216	1,918				5,127	1,884
6月	5,042	1,856	5,180	1,888				5,042	1,856
7月	4,471	1,668	4,645	1,648				4,471	1,668
8月	4,330	1,703	4,321	1,752				4,330	1,703
9月	4,913	1,783	5,141	1,828				4,913	1,783
10月	5,382	1,807	5,691	1,767				5,382	1,807
11月	5,024	1,569	5,307	1,560				5,024	1,569
12月	5,185	1,797	5,213	1,751				5,185	1,797

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位：円/kg)						
	キャベツ			レタス		
	過去5年平均	平成22年	5年平均比(%)	過去5年平均	平成22年	5年平均比(%)
1月	201	173	86	613	639	104
2月	188	199	106	500	530	106
3月	190	201	106	464	479	103
4月	231	393	170	435	569	131
5月	188		0	376		0
6月	151		0	339		0
7月	149		0	315		0
8月	159		0	449		0
9月	153		0	472		0
10月	146		0	419		0
11月	129		0	339		0
12月	146		0	456		0

注1：過去5カ年は平成17～21年
注2：4月の値は、4月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

野菜の輸入量は、平成20年は、対前年比90%の226万トン、21年では対前年比96%の218万トンと減少傾向を示していたが、22年1～3月でみると、輸入量は、対前年比112%の593トン、中国産は、対前年比112%の273トンとなっており、増加傾向を示している。一方、植物防疫検査統計によると、4月は、たまねぎについては、対前年比95%、にんじんについては、対前年比53%、ねぎ同81%となっている。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)						
区分	平成20年		平成21年		平成22年1月～3月	
		前年比		前年比		前年比
生鮮野菜	602,733	75	615,271	102	193,201	115
加工野菜	1,660,663	98	1,569,627	95	399,869	111
野菜輸入量合計	2,263,395	90	2,184,898	97	593,070	112
うち中国産野菜合計	1,147,126	87	1,098,415	96	273,114	112
中国産シェア	51		50		46	

資料：財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

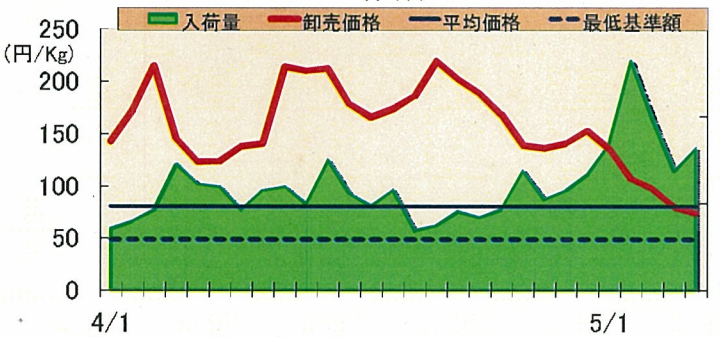
(単位：トン、%)				
品目	輸入先	(A)2009.4	(B)2010.4	(B)/(A)
たまねぎ	合計	15,358	14,593	95
	中国	11,282	9,461	84
	米国	1,587	36	2
にんじん	合計	4,760	2,501	53
	中国	1,993	1,370	69
	台湾	540	463	86
ねぎ	合計	2,646	2,151	81
	中国	2,643	2,150	81

資料：農林水産省「植物防疫検査統計」(2010年4月の速報値である。)

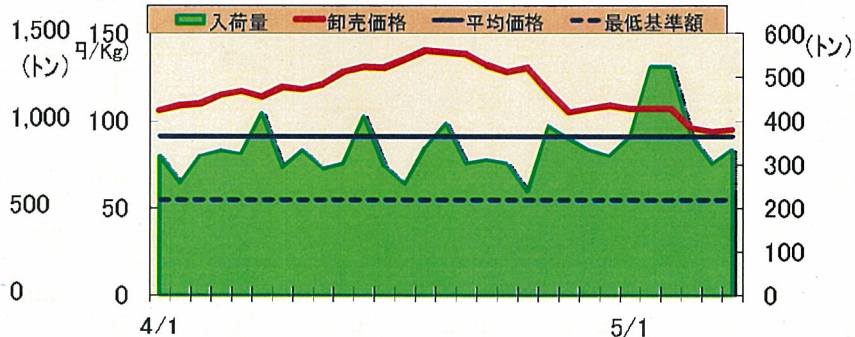
4 トピック

「キャベツ」「だいこん」「ピーマン」「ばれいしょ」の卸売数量と価格の推移
4月から5月にかけての卸売数量と価格の動向をみると、「キャベツ」は4月末から5月にかけて入荷量が増え、価格は下落し、「だいこん」は、連休前から価格が落ち着きを見せている。
また、「ピーマン」、「ばれいしょ」は入荷量が回復し、価格は下がってきているものの、なお、高値で推移している。

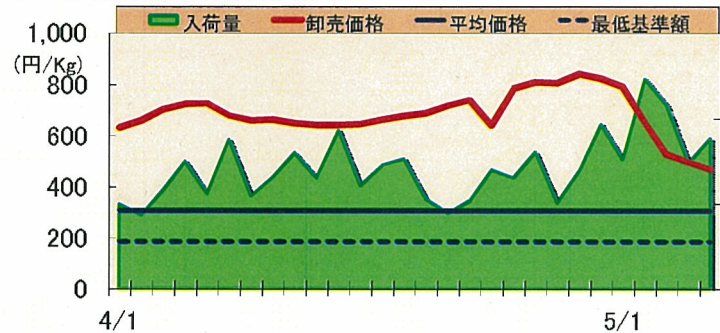
「キャベツ」の卸売数量と価格の推移



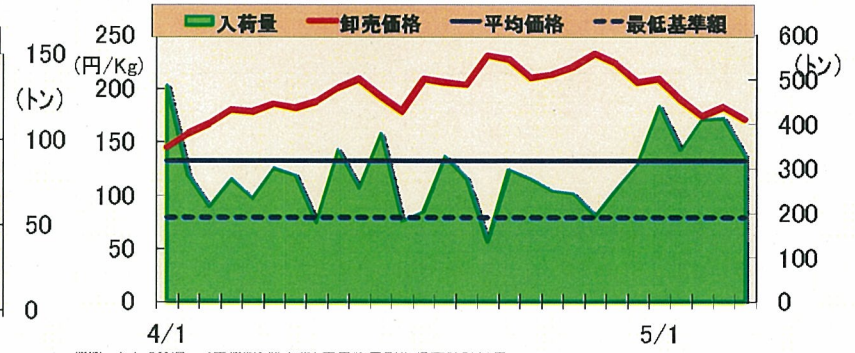
「だいこん」の卸売数量と価格の推移



「ピーマン」卸売数量と価格の推移



「ばれいしょ」卸売数量と価格の推移



資料：allpec ベジテック、(原資料)農水省「青果物日別取扱高統計結果」

【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開きました！(直接契約課)】

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484